



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年8月8日
東

上場会社名 株式会社 アテクト 上場取引所
コード番号 4241 URL <https://www.atect.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 大西 誠
問合せ先責任者 (役職名) 経理・財務部部長 (氏名) 菅原 偉夫 (TEL) 0748-20-3400
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	826	△7.1	57	7.9	65	16.2	58	44.0
2025年3月期第1四半期	888	2.8	53	△40.1	56	△45.1	40	△46.6

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 80百万円(37.4%) 2025年3月期第1四半期 58百万円(△44.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	13.28	—
2025年3月期第1四半期	9.23	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	4,783	1,751	36.6
2025年3月期	4,686	1,714	36.6

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 1,751百万円 2025年3月期 1,714百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2026年3月期	—				
2026年3月期(予想)		0.00	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通期	3,300	3.1	90	11.6	70	8.2	50	24.5	11.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期1Q	4,436,800株	2025年3月期	4,436,800株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	15,873株	2025年3月期	15,873株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年3月期1Q	4,420,927株	2025年3月期1Q	4,420,927株

- ※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

新中期経営計画『VISION25』の最終年度のスタートとなる当第1四半期連結累計期間のグループ連結業績は、円安や世界的な資材価格の高騰の影響、トランプ関税に対する警戒感が広がったものの、製品販売価格の適正化や原材料の購入価格の低減活動を行った結果、減収増益となりました。

半導体資材事業においては当社スペーサーテープの需要の回復を見込んでおりましたが、中国経済の減速やトランプ関税に対する警戒感の広がりにより見込んでいた回復には至らず、売上高は減少しました。衛生検査器材事業においては引き続き旺盛なインバウンド需要に伴う外食産業の伸長がみられるとともに、内食・デリバリー及びテイクアウト需要についても安定的に推移しております。PIM事業においては自動車用ターボ部品の量産出荷が再開したことに加え、高機能部品の販売が堅調に推移したことにより増収となりました。

利益面では高騰が続く原材料費の影響は、衛生検査器材事業のシャーレ主原料であるPS（ポリスチレン）材及び、半導体資材事業のスペーサーテープの主原料であるPETフィルム等の値上がりにより原価を押し上げておりますが、継続的な価格交渉の結果やや軟化がみられます。

引き続き地道な製品販売価格の適正化や原材料価格の交渉、各事業における生産性改善活動等により利益の確保に努めてまいります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高826百万円（前年同期比7.1%減）、営業利益57百万円（前年同期比7.9%増）、経常利益65百万円（前年同期比16.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は58百万円（前年同期比44.0%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントとして記載する事業セグメントを変更しております。詳細は、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等の注記）3. 報告セグメントの変更等に関する事項」をご参照ください。

① 半導体資材事業

当事業においては、当第1四半期連結累計期間は前第4四半期連結会計期間からの水準を維持しましたが、中国経済の減速やトランプ関税に対する警戒感の広がりにより、見込んでいた需要の回復には至らず、スペーサーテープの販売数量は1,561万mとなり、前年同期からは大きく減少する結果となりました。また、第2四半期連結会計期間以降には、再び在庫調整局面を迎える見込みとなっていることに加え、新規競合メーカーの市場参入等、不確定要素も多く、引き続き市場の動向を注視してまいります。

市場環境の影響を受けにくい、FPD（フラットパネルディスプレイ）業界以外に向けた製品開発、販売にも注力し、更なる増収を目指してまいります。

また、従来は日本・韓国・台湾がCOFテープの主力市場でありましたが、昨今中国企業の市場参入が相次いでおり、今後も同市場からの受注獲得に注力してまいります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は290百万円（前年同期比21.1%減）、営業利益29百万円（前年同期比45.9%減）となりました。

② 衛生検査器材事業

当事業においては、インバウンド需要の継続的な回復により外食需要はコロナ禍以前を上回る水準で推移し、また、内食・デリバリー・テイクアウト需要も底堅く推移いたしました。これらの需要拡大に支えられ、主たる顧客層の販売活動は概ね堅調に推移しました。

また、新製品として簡易型微生物検出用培地『a S-M e d i u m』の販売を開始し、各方面へのサンプル出荷を含む積極的な拡販活動を展開いたしました。同製品は、誰でも簡便に微生物検査が行えることをコンセプトとしており、食の安全性向上に寄与する製品として高い関心を集めております。

利益面では、シャーレの主原料であるP S（ポリスチレン）材を含む原材料価格は継続的な価格交渉の結果、安定的に推移しております。こうした環境のもと、当社では引き続き製造合理化による原価低減の取り組みと、販売価格の適正化を並行して推進し、収益体質の強化に努めております。

近年では同一の検査対象においても、簡易培地等の導入により検査工程の効率化が進んでいるため、検査頻度や回数は増加傾向にある一方で、消耗品である検査器材の使用総量は必ずしも比例していないという市場環境の変化が見られます。こうした傾向に対し、当社は検査回数そのものの増加機会を積極的に捉える視点で販売活動を展開し、検査の“質”と“頻度”双方に価値を提供する提案型営業を推進しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は482百万円（前年同期比4.1%増）、営業利益61百万円（前年同期比122.9%増）となりました。

③ P I M（パウダー・インジェクション・モールドィング）事業

当事業においては、自動車用ターボ部品ならびに高機能部品の主力製品の販売が計画に沿って着実に推移しており、全体として堅調な受注・出荷状況が続いております。

製品の量産段階における品質のさらなる向上と、生産工程全体の効率最適化を実現するため、歩留まり改善活動に重点的に取り組んでおります。具体的には、成形・脱脂・焼結といった主要工程ごとにおける異常発生要因の可視化及び分析を進めるとともに、工程内での品質チェック体制の強化や、作業条件・工程パラメータの適正化等、多面的な改善活動を実施しております。これらの取り組みによって、工程の安定化及び効率化並びに歩留まりの大幅な向上を目指しております。

今後におきましても、安定した生産体制の確立と維持を最優先課題の一つとして捉え、現場主導の改善活動を継続して推進してまいります。さらに、これらの取り組みを通じて製品供給の信頼性を一層高めるとともに、ムダの排除による原価低減を着実に進め、収益性の強化と競争力向上を図ってまいります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は53百万円（前年同期比9.5%増）、営業損失33百万円（前年同期は営業損失35百万円）となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

(資産)

総資産は、4,783百万円（前連結会計年度末は4,686百万円）、97百万円の増加（前連結会計年度末比2.1%増）となりました。これは、「現金及び預金」が88百万円増加したこと等によるものです。

(負債)

負債は、3,032百万円（前連結会計年度末は2,971百万円）、60百万円の増加（前連結会計年度末比2.0%増）となりました。これは、「支払手形及び買掛金」が47百万円、「電子記録債務」が18百万円増加したこと等によるものです。

(純資産)

純資産は、1,751百万円（前連結会計年度末は1,714百万円）、36百万円の増加（前連結会計年度末比2.1%増）となりました。これは、「利益剰余金」が14百万円、「為替換算調整勘定」が22百万円増加したこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年5月15日発表の通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	467,800	556,555
受取手形	921	1,390
売掛金	477,690	477,514
電子記録債権	5,996	7,691
商品及び製品	231,410	264,027
仕掛品	45,082	50,081
原材料及び貯蔵品	263,696	277,824
その他	31,677	32,810
貸倒引当金	△2,800	△2,834
流動資産合計	1,521,474	1,665,060
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	939,277	932,616
機械装置及び運搬具（純額）	350,188	326,819
土地	1,536,001	1,536,001
建設仮勘定	40,101	35,183
その他	13,386	12,651
有形固定資産合計	2,878,955	2,843,271
無形固定資産		
その他	84,935	77,283
無形固定資産合計	84,935	77,283
投資その他の資産		
繰延税金資産	195,252	192,145
その他	6,109	6,234
貸倒引当金	△658	△762
投資その他の資産合計	200,702	197,618
固定資産合計	3,164,593	3,118,172
資産合計	4,686,067	4,783,233

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	111,183	158,863
電子記録債務	232,289	250,817
短期借入金	350,000	350,000
1年内返済予定の長期借入金	663,368	603,400
リース債務	12,328	12,401
未払金	80,973	92,377
未払法人税等	22,787	28,011
前受金	719	5,059
賞与引当金	59,307	33,671
営業外電子記録債務	610	3,395
その他	78,455	115,866
流動負債合計	1,612,023	1,653,863
固定負債		
長期借入金	1,291,503	1,309,789
リース債務	37,200	34,072
退職給付に係る負債	27,948	31,451
その他	2,931	2,996
固定負債合計	1,359,584	1,378,309
負債合計	2,971,607	3,032,172
純資産の部		
株主資本		
資本金	822,266	822,266
資本剰余金	742,266	742,266
利益剰余金	188,602	203,120
自己株式	△8,006	△8,006
株主資本合計	1,745,130	1,759,647
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△30,670	△8,586
その他の包括利益累計額合計	△30,670	△8,586
純資産合計	1,714,460	1,751,060
負債純資産合計	4,686,067	4,783,233

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	888,842	826,175
売上原価	523,671	481,892
売上総利益	365,170	344,283
販売費及び一般管理費	311,801	286,694
営業利益	53,368	57,588
営業外収益		
受取利息	1,288	1,296
為替差益	4,421	9,611
その他	818	1,095
営業外収益合計	6,528	12,004
営業外費用		
支払利息	3,345	4,175
その他	329	113
営業外費用合計	3,675	4,288
経常利益	56,222	65,303
特別利益		
固定資産売却益	-	20,072
特別利益合計	-	20,072
特別損失		
固定資産除却損	-	0
特別損失合計	-	0
税金等調整前四半期純利益	56,222	85,376
法人税等	15,438	26,649
四半期純利益	40,784	58,726
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	40,784	58,726

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	40,784	58,726
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	18,048	22,083
その他の包括利益合計	18,048	22,083
四半期包括利益	58,832	80,809
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	58,832	80,809
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用につきましては、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を用いた計算をしております。

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	半導体 資材事業	衛生検査 器材事業	P I M事業	その他の事業			
売上高							
外部顧客への売上高	368,374	463,340	48,526	8,601	888,842	—	888,842
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	368,374	463,340	48,526	8,601	888,842	—	888,842
セグメント利益又は 損失(△)	54,546	27,664	△35,019	6,176	53,368	—	53,368

(注) 1. セグメント利益又は損失は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

2. 「その他の事業」は賃貸先との契約による(不動産賃貸業)であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	半導体 資材事業	衛生検査 器材事業	P I M事業			
売上高						
外部顧客への売上高	290,610	482,420	53,144	826,175	—	826,175
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	290,610	482,420	53,144	826,175	—	826,175
セグメント利益又は 損失(△)	29,501	61,672	△33,585	57,588	—	57,588

(注) セグメント利益又は損失は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

前第1四半期連結会計期間において「その他の事業」(不動産賃貸業)について賃貸先との契約終了により社内使用をしていることに伴い、当第1四半期連結会計期間より「その他の事業」の区分を廃止しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	63,373千円	51,631千円